

31 Oct

JAF 地方選手権・JMRC 近畿チャンピオンシリーズ

Rd,4 PROXES スーパーG スラローム

名阪スポーツランド C コース

☆優勝選手の皆様、おめでとうございます☆

☆2PD CLASS☆ 優勝：織田 拓也選手



「皆様お疲れ様でした。」

テクニカルなコース設定に走りの組み立てを悩みましたが、良い経験となりました。

来年は2PD クラスが成立する様に活動を続けていきたいと思っています。

ありがとうございました。」

「オフィシャルの皆様楽しいイベントの運営ありがとうございました。」

初めて出場する地区戦で「表彰台に乗れたらええかな？」って思ってたら優勝を飾れてめっちゃくちゃ嬉しいです。走りの方も1本目2本目ともに結果を出せたので満足でした。

また今回の参戦に際して装備一式貸すから出よ！って言って快く乗ってくれた山村君といつも戦える車に仕上げてくれる親父に感謝です。次回は11月末に自分のメインである

ミドル最終戦があり、前戦は山村君に「1秒離すわ！w」の宣戦布告を受け大敗してしまいました。

今回も「ミドルは当たり前前に勝つと思ってるわww」という熱いラブコールを頂いたので

全力で返り討ちにして今年度のミドルチャンピオンを取りに行くので応援よろしくお願いします！」

☆BR1 CLASS☆ 優勝：本山 正悟選手



☆BR2 CLASS☆ 優勝：寺谷 正樹選手



「オフィシャルの皆様、エントラントの皆様、お疲れ様でした。」

最終戦にふさわしいコース設定とだと思います。

1本目はフリーターン不通過でミスコース。

仕切り直しの2本目、痺れました。

来シーズンも、みなさんよろしくお願いいたします。」

☆BR3 CLASS☆ 優勝：間瀬戸 勇樹選手

「オフィシャルの皆様、エントラントの皆様、寒い雨～暑い晴れの中、お疲れ様でした。」

今年から使っているタイヤの良い使い方を見つけたので、ぶっつけ本番でしたが走り方を変えた結果、1本目のウェットと2本目のドライ両方トップタイムで優勝出来ました！

満点チャンピオン獲れて最高です！

背反で、お尻フリフリしてるので、来年に向けての課題も見つかりました。

最後に、関係者の皆さま、コロナ禍で難しい判断が迫られる中、

シリーズを成立させて頂いた事にお礼申し上げます。1年間お疲れ様でした。」



☆BR4 CLASS ☆ 優勝：森橋 和也選手



「チャンピオンシリーズでの初優勝、本当に嬉しいです。最終戦の名阪Cコースとは相性が良く、ミドルシリーズでの初優勝やチャンピオンを決めたのもそうでしたので、今日は絶対に勝つつもりでいました(笑)。末筆になりましたが、コロナ禍で試合の中止が相次ぐ中、このような機会を与えてくれました関係者の皆様には本当に感謝いたします。来シーズンは、コロナが収まり、全戦開催できることを心から祈っています。」

☆LADIES CLASS ☆ 優勝：辰己 知佳選手



「3連勝 やったー!!!

みなさんお疲れ様でした。

」A Fカップに出る方は、楽しんで来て下さい。」

☆PN1 CLASS ☆ 優勝：奥 浩明選手



「部会様・主催者様お疲れ様でした。

今年乗り換えでやる気満々でしたがコロナで試合数も激減、他地区へも行けず今年上位陣に追いつくのは難しいと思っていましたが、3戦目にして優勝出来て感無量です。やっぱり表彰台は最高でした！

来年も猛者達に揉んで頂いて、ちょっとづつでも速く成れる様もがいてみたいと思います。」

☆PN2 CLASS ☆ 優勝：福尾 成泰選手



「シリーズ3戦の最終戦でチャンピオンの権利が4名にある僅差のポイントだったので、昨年に続き最終戦優勝でチャンピオンを決められて嬉しいです！

コースはハイスピードと難しいフリーターンがあるロングコースでしかも午後のみドライの一本勝負。フリーターンの正解の走り方が解らなくて自己流で走ったのが正解に近かったかもしれません。でももう一回やれと言われても出来ない難しさでした。ありがとうございました。」

☆PN3 CLASS ☆ 優勝：黒田 有一選手



「選手の皆様、関係者の皆様、お疲れ様でした。コロナ禍の中、1年間の大会運営お疲れ様でした。

今回のコースは2回のフリーターンがあって難易度が高く、また雨のち曇りという天候もあって、2本目の一発勝負となってしまいました。ペナルティ等もなく、何とかゴール出来ました。

私自身8年ぶりに優勝させていただきまして、大変うれしく思っている反面、クラスの参加台数が少なくなって、寂しい気持ちです。来年は、参加台数も増えて、コロナも収束して、また、皆さんと切磋琢磨出来ることを願っています。」

☆PN4 CLASS☆ 優勝：小玉 知司選手

「今年の地区戦も、コロナ禍で半分が中止となり不安な1年でした。

皆さん大変な時期を過ごした中で、何とか最終戦を無事に迎える事が出来て、
ブサイクな走りでも恥ずかしい限りですが、優勝出来ました。

PN3 クラスの黒田さんも久しぶりの優勝で、嬉しさも2倍です」



☆SB1 CLASS☆ 優勝：大原 秀樹選手



「長きにわたるコロナ禍の中、シリーズ成立にご尽力いただきました主催者様はじめ関係者の
方々に感謝申し上げます。3 戦中、すでに 1 戦欠席しており、シリーズ成績は望めないものと

なっていました、クラブの仲間のシリーズ成績にかかわるようだったので目一杯

(邪魔できるよ) 頑張って走りました。自分がコケてたら、けんずさん(初)と

よ山さん(9 年ぶり 3 度目)のダブルチャンプが発生していたようでした。

お二方とも、特にけんずさん JAF 表彰式のインタビューの機会をつぶしてごめんなさい。

来年がんばってください(笑)」

☆SB2 CLASS☆ 優勝：中山 務選手



「主催&運営の方々におかれましては、この様な状況の中、開催頂きましてありがとうございました。

来年もよろしくお願いいたします。今回もクラス 3 台ということで、シリーズ成立ギリギリとなって

しましたが、後輩の張君が要請に応じて参戦してくれて助かりました。この場をお借りしてお礼

申し上げます。ありがとう！来年は是非俺を倒して初優勝して下さい！でもチャンピオンはまだ譲りません！

アナウンサー伊東様にダメ出しされる程の酷い走りでしたが、何とか優勝出来ました。

この場で言い訳させて頂くと、実はかなり古いタイヤで走っておりまして。

ファインアート、チーム員、師匠、家族に感謝いたします。

築 30 年の車両ですが、高騰しており、乗り手が増えることは厳しいクラスですが、新しい車両での参戦、ミドル戦や他地区からの参加をお待ちしております。

最後に大島さん、次回は必ず参加下さい！貴殿のための規定です！ありがとうございました。」

☆SB3 CLASS☆ 優勝：野田 太一選手



「皆様お疲れ様でした。7月から10月末に延期になった第4戦は朝から雨が降り

一本目はウェット走行かと思われていたが徐々に天候が回復、出走前には

ほぼドライ路面になったがミスもあり二番手。

後がなくなった二本目は完全ドライ路面、今回のキモとなるフリーターンを
不通過覚悟で攻めた結果大幅にタイムアップする事が出来、最終戦を優勝で締め括れました。」

☆SB4 CLASS☆ 優勝：石田 忠義選手

「ダメ元で挑んだ最終戦。とは言いながら色々悪あがきして、できることはやり尽くした結果、まさかの優勝！シリーズチャンピオン！絶対王者の辰巳さんに勝ってこんなに早くチャンピオンになれるとは誰も予想してなかったと思いますが、私もその一人です（笑）

今年のこの結果は沢山のの人に支えられた結果だとつくづく思います。ありがとうございます！

今年は3戦しかなかったのでラッキーもありましたから、来年もチャレンジャーの気持ちで戦ってまたチャンプを目指したいと思います！」



☆CH CLASS☆ 優勝：胸元 貴大選手



「オフィシャルの皆様、エントラントの皆様、お疲れ様でした。

チャレンジクラスですが、初めてチャンピオン戦にお邪魔させて頂きました。

ターンセクションは難しく、苦戦しましたが、チームメイトのアドバイスもあり、

タイムを残すことが出来ました。

11 月末には実質ミドルシリーズ最終戦があり、それに向けて、いい弾みになったと思います。

」



2021年JAF近畿ジムカーナ選手権第4戦
2021年JMRC近畿ジムカーナチャンピオンシリーズ第4戦
2021年JMRC全国オールスター選抜第4戦

PROXES
スーパーGスラローム

JAF公認準国内/クローズド競技：公認No.2021-3112
2021. 10. 31 Sun. 名阪スポーツランドCコース
主催：トランピオ・スポーツ・コミュニケーション・大阪(2-27069)

